

保存版

名東区 北一社学区

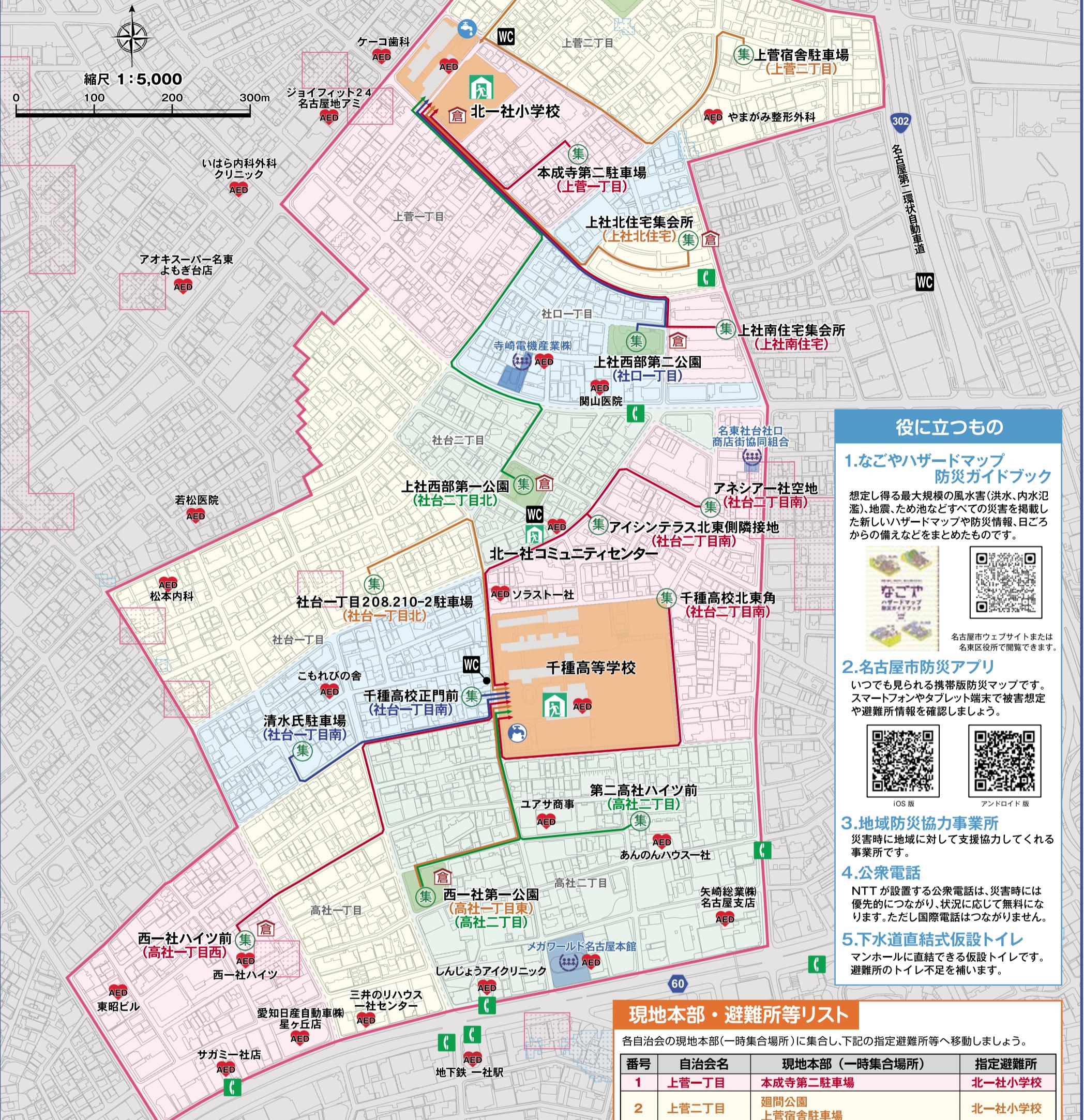
災害時避難行動マップ

自治会の現地本部（一時集合場所）



縮尺 1:5,000

0 100 200 300m



気をつけて!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狹い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線

切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない

凡 例



指定避難所：自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間避難生活を送るためのところ。



指定緊急避難場所（一時避難場所）：地震の指定緊急避難場所であり、一時に避難して様子をうかがうところ。（廻間公園が該当します。）



現地本部（一時集合場所）



AED



防災倉庫



（矢印）避難経路



公衆電話



下水道直結式仮設トイレ



地下式給水栓



貯水タンク給水栓

内水氾濫の想定浸水深0.5m以上

液状化発生の可能性が高い

現地本部・避難所等リスト

各自治会の現地本部（一時集合場所）に集合し、下記の指定避難所等へ移動しましょう。

番号	自治会名	現地本部（一時集合場所）	指定避難所
1	上菅一丁目	本成寺第二駐車場	北一社小学校
2	上菅二丁目	廻間公園 上菅宿舎駐車場	北一社小学校
3	上社北住宅	上社北住宅集会所	北一社小学校
4	上社南住宅	上社南住宅集会所	北一社小学校
5	社口一丁目	上社西部第二公園	北一社小学校
6	社台二丁目北	上社西部第一公園	北一社小学校
7	社台一丁目北	社台一丁目 208.210-2 駐車場	千種高等学校
8	社台一丁目南	千種高校正門前 清水氏駐車場	千種高等学校
9	社台二丁目南	アネシア一社空地 アイシンテラス北東側隣接地 千種高校北東角	千種高等学校
10	高社一丁目西	西一社ハイツ前	千種高等学校
11	高社一丁目東	西一社第一公園	千種高等学校
12	高社二丁目	西一社第一公園 第二高社ハイツ前	千種高等学校

（お願い）自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。

この地図は、名古屋都市計画基本図（令和2・3年作成）を使用して作成しています。

作成：北一社学区連絡協議会/名東区役所/名東消防署（令和5年3月作成）

名東区北一社学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6弱(一部地域では震度6強)の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。液状化現象が起きる可能性が高い個所では、建物が傾いたり、路上に水が溢れ出し、通ることができなくなるおそれがあります。適切な避難経路をあらかじめ確認しておきましょう。

地震発生！震災時の対応

揺れた

● 身の安全の確保

- ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議



安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具の転倒防止対策**は日頃からしっかり進めときましょう

揺れが
おさまった

- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- テレビ・ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備



自動車を運転しているときは…
パンクしたような感じになり、ハンドルをとられて運転が困難になります
★車を左側に寄せてエンジン停止!
★ラジオなどで災害情報を確認!
★ドアロックせず、キーはつけたままで避難

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

例)

- ・土砂災害警戒区域ではない
- ・建物が傾いていたり、亀裂が生じたりしていない

可能

不可能

在宅避難

現地本部(一時集合場所)に集合して
避難先へ

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

指定避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



高齢者や障がいのある方などが取り残されていないか確認しよう!

現地本部(一時集合場所)
に在宅避難を伝えよう!

周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう!

安全に避難するための6つのポイント

- ①ガス・水道の元栓を閉め、ブレーカーを切る!
- ②近所への声かけ!
- ③高齢者や障がいのある方などの避難誘導を!
- ④原則歩行! (渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない)
- ⑤木造住宅密集地やがけ地は避け、川の近くへ行く時は注意を!
- ⑥二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを!

一人では逃げるのが難しい方への対応

名東区では、「めいとう総合見守り支援事業」に取り組んでおり、自治会長や民生委員等を始めとする地域の支援者が、災害時に一人で避難できない人々(以下要支援者)の安否確認や避難誘導を行います。

【災害時の支援のお願い】

災害時にご自身・ご家族が無事で、要支援者の支援が可能な方は、表面(地図面)の現地本部・避難所等リストの現地本部(一時集合場所)へお集りいただき、支援のご協力をお願いします。

安否確認

北一社学区では黄色の「無事です」プレートを自治会員に配付しております。地震発生の時には、地域の自主防災会が、皆さんの安否確認のために回ります。要支援者の方には、出来るだけ直に声をかけての安否確認をいたします。



現地本部

北一社学区では、各自治会毎に、1~3カ所の現地本部が立ち上がります。自分の自治会の現地本部がどこなのかを必ず確認しておいて下さい。また、避難所の開設は時間がかかります。現地本部が救助・誘導の拠点となりますので、連絡は現地本部へお願いします。



備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品 災害に備えて用意しておきたいもの

● 命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品(自分がたべやすいもの)
- 常備薬(持病の薬を含む)
- 飲料水(ペットボトル)

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分 程度用意しましょう

● 防災用品

- 給水用のポリ容器・バケツ
- ロープ
- バール
- のこぎり・工具など

● 燃料

- カセットコンロ(予備のボンベ含む)
- 簡易トイレ
- 固形燃料

● 寝具等

- 毛布
- 寝袋
- キャンプ用テント

● 便利用品

- ドライシャンプー
- 簡易トイレ
- 歯ブラシ

非常持出品 避難する時に持っていくものを袋にまとめておく

● 防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災すきん
- 軍手

● 貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し

● 医療用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう

● 食器類

- 懐中電灯(電池含む)
- マッチ・ライター

● 便利用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう

● 衣料品

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

● その他

- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

避難する際には可能な限り、『体温計、マスク、アルコール消毒液、スリッパ、ごみ袋』を非常持出品に追加して準備しましょう。